



～日本郵船のコンテナ船等 100 隻以上に海洋ブロードバンドサービス「OceanBB」を提供へ～
「NYK SATCOM プロジェクト」における「OceanBB」の正式採用について

スカパーJSAT株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長 高田 真治、以下スカパーJSAT）は、このほど日本郵船株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 工藤 泰三、以下日本郵船）と古野電気株式会社（兵庫県西宮市、代表取締役社長 古野 幸男、以下古野電気）によるコンテナ船等を対象にした海上ブロードバンドシステム導入プロジェクト「NYK SATCOM プロジェクト」において、高速・定額制の船舶向けインターネット接続サービス「OceanBB（オーシャンビービー）」が採用され、日本郵船のコンテナ船をはじめ自動車運搬船、バルカー、タンカー、LNG船等の船種にも順次導入されることになり、100隻以上にOceanBBを提供することになりましたので、お知らせします。

スカパーJSATは、日本郵船が2010年10月より開始した各種船舶での海上ブロードバンド実証実験にOceanBBを提供してまいりましたが、船上における検証を通じ、船舶の安全運航と船陸間の情報伝達に海上ブロードバンドシステムの導入が有効であるとの評価がなされ、NYK SATCOMプロジェクトにおけるOceanBBの正式な採用が決定しました。

また、日本郵船がコンテナ船で進めている最適経済運航プロジェクト“IBIS PROJEC (INNOVATIVE BUNKER&IDLE-TIME SAVING)”においても、船陸間通信をリアルタイム化・大容量化することにより「詳細な気象情報・海流予測情報の本船上での入手」、「運航データの自動送信や陸上での運航状況のモニタリング強化」、「陸上担当者と本船間の情報共有・意思疎通の迅速化」などが可能となり、CO₂削減に必要な大容量データがリアルタイムに得られることが確認されることに加え、インターネットを通じて乗組員が家族とコミュニケーションを取れるなど福利厚生の上にも寄与することから、OceanBBの有用性について評価をいただきました。

OceanBBサービスは、伝送速度が最大1 Mbpsの高速インターネット接続を定額制で実現する海洋ブロードバンドサービスで、従来の低速で従量課金であった海上における通信環境を一変させるだけでなく、米国KVH社のサービスとローミング接続を行うことにより、世界の主要海域におけるサービス提供を可能としています。

昨今の大容量データ通信へのニーズは船舶通信分野においても高まっており、海外の商船ではブロードバンド装備の搭載が一般的になりつつあります。

このたびのNYK SATCOMプロジェクトにおけるOceanBBサービスの採用は、日本をはじめとするアジアの商船においてもブロードバンド装備が標準化されていく流れを示すものであり、日本やアジアの商船においてもブロードバンド装備を利用した最適経済運航管理や乗組員の福利厚生への利用がますます進むことが予想されます。

スカパーJSATはOceanBBサービスによって、世界を航行する船舶に対して快適なブロードバンド通信環境の提供をするとともに、今後益々重要になる国際海上輸送の安心・安全に寄与してまいります。

（参考資料）

①OceanBB ロゴ、②最新サービスエリア図、③サービス概要図、④日本郵船コンテナ船 (NYK VIRGO) 写真、⑤日本郵船自動車運搬船 (ANTARES LEADER) 写真

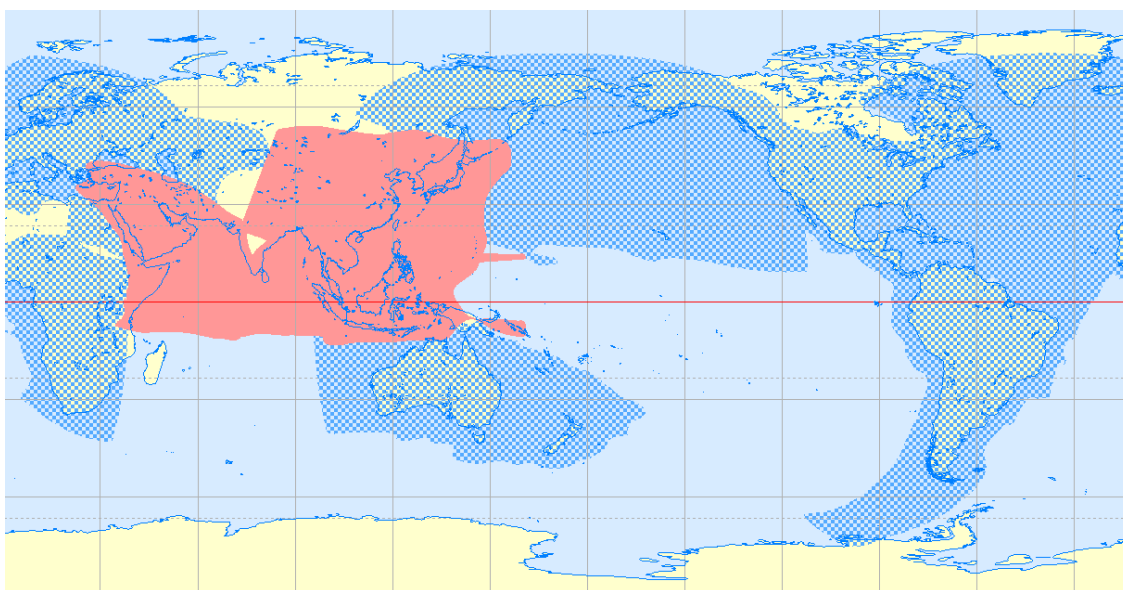
【参考資料】



① OceanBB ロゴ

海洋ブロードバンドサービス

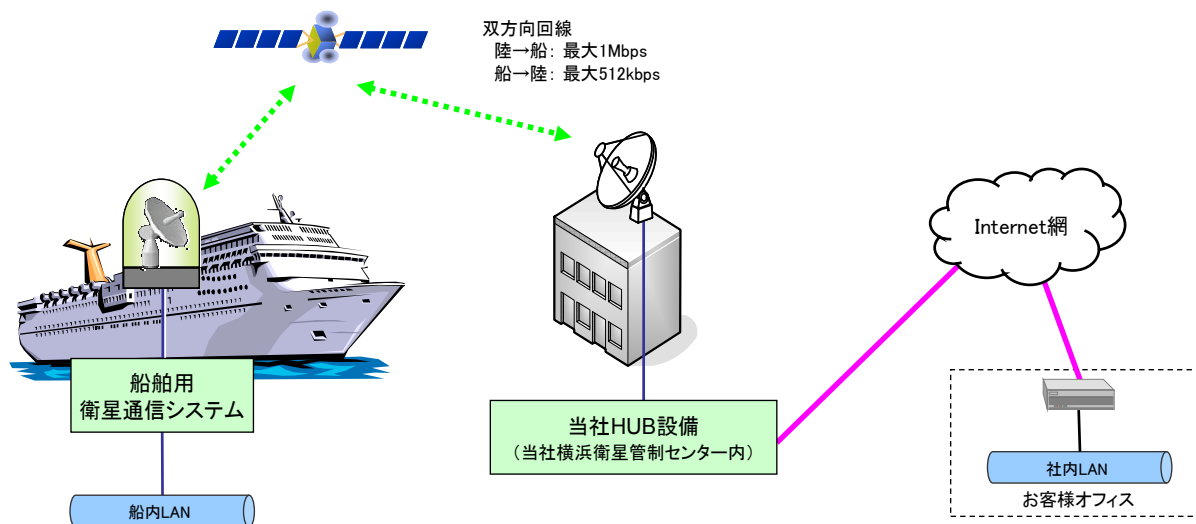


② 最新サービスエリア図



-  スカパーJSATサービスエリア
-  提携事業者(KVH社) サービスエリア

③ サービス概要図



④ 日本郵船 コンテナ船(NYK VIRGO) 写真



⑤ 日本郵船 自動車運搬船 (ANTARES LEADER) 写真



以上